



薩摩大口駅跡に咲く紫陽花

茜雲



鹿児島県立
大口高等学校

〒895-2511 伊佐市大口里2670

TEL 0995-22-1441 FAX 0995-22-9227

大口高校だより

一日遠足でクラスの絆深まる!

4月26日、待ちに待った一日遠足。1年は毎年恒例の「高千穂牧場」。2年は「平川動物公園」。3年は「生駒高原・のじりこびあ」と学年ごとに実施。クラスの絆が一段と深まった一日でした。



「総合的な探究の時間」講習会

4月25日、マツモト写真館の小林三千代さんと南日本新聞社伊佐支局長の勝目博之さんを講師に、写真撮影や取材を行う際のマナーやスキルを学ぶ講習会を実施しました。

小林さんは、映える写真の撮り方やピントの合わせ方などを実際にスマホを使いながら丁寧に教えてくださいました。

勝目さんは、自分のこれまでの成功や失敗の例を挙げながら、取材に当たっては相手の心を開かせることが重要であると教えてくださいました。



Jissoこどもの森オープンデー

5月5日、十曾青少年旅行村こどもの森で伊佐石窯マイスター協会が主催するこどもの日イベントが開催され、本校からも10人の生徒がボランティアで参加しました。

生徒会長の中渡君は慣れた手つきでピザを焼き、初参加の1年生の奥平さんと徳田さんは田野田会長から手ほどきを受けながら生地をのぼし具材をトッピング。



2年生の女子生徒は主に大口高校米(マイ)クッキーやジュースの販売を担当しました。参加した生徒たちは、爽やかな天候の下で清々しい一日を過ごしました。



いさドラゴンカップ2024

4月28日、伊佐市菱刈カヌー競技場で開催された「いさドラゴンカップ2024」に、本校生男女あわせて21人が大会ボランティアとして参加しました。水上でのスタート補助を行うウォーターマンという重要な役を任せられました。

せっかくなのでということで、男女ともレースに体験参加しました。地域のイベントに積極的に協力してくれる大口高校生に、多くの方から感謝の言葉をいただきました。



レース中の女子(上)と男子(下)



待望の野球部復活!

平成4年5月、NHK旗争奪野球大会で大口高校旋風を巻き起こし、並み居る強豪校を倒して初優勝を果たした大口高校野球部。大口の地に優勝旗を持ち帰った姿に地元の人々は歓喜し、優勝記念パレードも行われました。

そのチームを率いた廣瀬裕二監督が、30年の時を経て再び大口高校に戻ってこられました。情熱は衰えていないどころか、むしろパワーアップしています。その廣瀬監督の下で野球をしたいという生徒が集まり、大口高校野球部が見事復活を遂げました。

5月8日に始良市総合運動公園野球場で行われた始良伊佐地区大会には、蒲生・霧島・第一高校との連合チームで出場。4番を任された福元君はそれに応えて見事ヒットを放ち、佐土原君は気迫あふれるプレーでチームを鼓舞しました。

市民の皆様からも温かい声援をいただいております。今後の活躍に期待しています。



グラウンド整備用車両提供

大口高校は、野球・ラグビー・サッカーのコートを同時に取れる、県下でも最も広い校庭を持つ高校の一つです。しかし、そのグラウンド整備は大変で、雑草の駆除も含めて部活動顧問は悩まされてきました。

そうした状況を見かねたサッカー部保護者で堅山自動車を経営する堅山さんが、このたびグラウンド整備用に中古の軽トラックを提供してくださいました。

車両後部には、グラウンドレキを取り付けるためのフックが装備しており、さっそく使用したサッカー部顧問の倉内先生は「これで効率的にグラウンド整備が出来る。大変ありがたい。」とのこと。本当にありがとうございます。

